



熊本県人権啓発
キャラクター
「コッコロ」

くまモンと一緒に、
熊本県庁プロムナードで



熊本ヴォルターズ試合会場での人権啓発活動。
法務省の人KENまもる君、人KENあゆみちゃんも
駆けつけました。

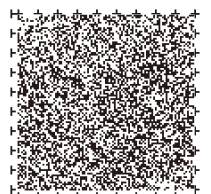


©2010 熊本県くまモン

もくじ

- P.1 秋もコッコロ大活躍!
- P.2 「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」をご存じですか？/
インターネットによる人権侵害について
- P.3 こどもまんなか社会の実現に向けて～熊本県の取り組み～/
コッコロの達人
- P.4 熊本県人権フェスティバル/人権相談窓口/
熊本ヴォルターズ“熊本県人権月間マッチ”/人権センター新着図書

この情報誌には
音声コードが印
刷されています。



Uni-Voice

「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」をご存じですか？

部落差別に関わる問題は、居住地や出身地を理由に差別され、すべての国民に保障されている基本的人権が、完全には保障されていないという重大な人権問題です。県内においても、今なお下記のような部落差別事象が発生しています。

- ・特定の地域や個人に対し、差別発言をする。
- ・土地購入等に際して、自治体に同和地区の有無や所在地についての問い合わせをする。
- ・結婚の際に出身地等を理由に反対する。
- ・公共の場所に差別落書きをする。
- ・インターネット上に差別書き込みをする。



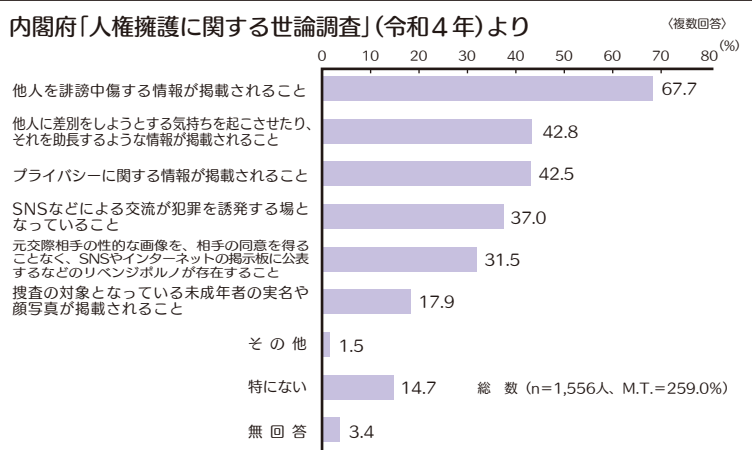
熊本県では、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現するために、「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」を制定しています。

熊本県部落差別の解消の推進に関する条例について（人権センターHP）



部落差別のない社会の実現に向け、私たちみんなで取り組んでいきましょう。

インターネット上で人権侵害だと思ったことはありませんか？



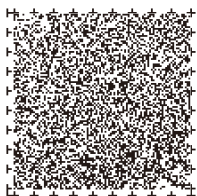
令和4年の内閣府の調査では、日本における人権問題について、「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害」がもっとも関心が高いという結果が出ています。近年、誹謗中傷等の問題が深刻化していることから、インターネット上で発生している様々な人権問題に対し、関心が高まっていることが窺えます。



ネットトラブルから子どもたちを守るために

低年齢層のインターネット・SNS 利用が増えており、子どもたちが「ネットいじめ」や「個人情報の拡散」などのトラブルに巻き込まれることがあります。

- スマホを利用する際には、子どもの年齢と判断力にふさわしい「フィルタリング」の設定を行いましょう。
- インターネットと人権について、普段から保護者や友達と話し合っておきましょう。
- インターネット利用について家族で話し合い、ルールを作っておきましょう。



こどもまんなか社会の実現に向けて

～熊本県の取り組み～

こども家庭庁の発足

令和5年4月に発足したこども家庭庁は、こどもがまんなかの社会を実現するため、こどもの視点に立って意見を聴き、こどもにとって一番の利益を考え、こどもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るための、こども政策に強力なリーダーシップをもって取り組むとしています。

こどもまんなか

※こどもまんなかマークは、文字に様々な色を使うことで、こどもの多様性や個性をあらわし、多くの人に思いやアクションがあることを表現しています。

熊本県の取り組み

熊本県では、あらゆる立場の個人や組織、コミュニティ等が、こどもや若者・子育て世代の視点に立ち、その最善の利益を第一に考えながら、こどもを誰一人取り残さないため様々な取り組みを実施する「こどもまんなか熊本」の実現に向け、取り組みを進めています。

こどもまんなか応援サポーター宣言



こども家庭庁が創設した「こどもまんなか応援サポーター ※」

制度の趣旨に賛同し、蒲島知事がくまモンと一緒に宣言を行いました。

※こどもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人、団体・企業、自治体等のことを言います。

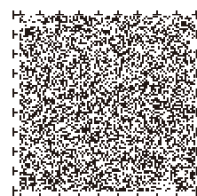
「こどもまんなか熊本プロジェクトチーム」の設置

「こどもまんなか熊本」の取り組みを県庁全体で進めていくため、5月に「こどもまんなか熊本プロジェクトチーム」を設置しました。また、20～30代の若手職員で「こどもまんなか応援団」を結成し、各部署の枠を超えて、検討や意見交換を行っています。



「こどもまんなか熊本」の実現に向けた県民アンケートの実施

広く県民の子育て、孫育て環境や意識の実態を把握し、各世代、未婚・既婚者、地域ごとの実情に合った効果的な施策を立案する基礎データとするために、アンケート調査を行いました。県民の皆様のご協力により、約12,000件の回答をいただきました。この結果を関係各課で共有し、今後の施策に反映させていきます。





熊本県人権フェスティバル



熊本県人権啓発キャラクター
「ココロ」

熊本県では、11月10日～12月10日を「熊本県人権月間」と位置付け、人権に関するさまざまな啓発活動を行っています。その一環として、楽しみながら人権について考えていただくことを目的として、人権フェスティバルを開催します。

日時：2023年12月10日（日）14：00～16：30（開場13：30）
場所：熊本城ホール2Fシビックホール（多目的ホール）熊本市中央区桜町3-40
主催：熊本県・熊本県人権啓発推進協議会
熊本県人権啓発活動ネットワーク協議会

主な内容：・最上もがさん講演会
「それって、あたり前？もがと考えるセクシュアリティ」
・ココロ隊オンステージ ・中高生制服コレクション など



応募方法

申込フォームまたはメール・
ハガキ・FAXのいずれか

定員

300人

申込期限

2023年11月26日（日）まで



詳細は
こちらから

人権に関する相談窓口

専門の相談員が、電話で人権に関する相談をお受けします。

相談専用TEL 096-384-5822

受付時間 月曜日～金曜日

【祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く】
9：00～12：00、13：00～16：00

熊本県人権センター

（熊本県人権同和政策課内）



熊本ヴォルターズ “熊本県人権月間マッチ”

11月26日（日）青森ワッツ戦
（14時試合開始・県立総合体育館）

熊本ヴォルターズのホームゲームで
「人権」をテーマに、イベントやブース
出展を行います。

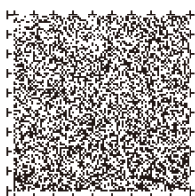


熊本ヴォルターズ
キャラクター
ほるとん

人権センター新着図書（令和5年8月購入）

貸出・予約ができます。
お気軽にお問い合わせください。

人権課題	題名（著者等名）
全般	差別の教室（藤原章生）
全般	人権ってなんだろう？（アジア太平洋人権情報センター）
女性の人権	82年生まれ、キム・ジヨン（チョ・ナムジュ）
子どもの人権	きみがきみらしく生きるための子どもの権利（甲斐田万智子）
子どもの人権	世界中の子どもの権利を守る30の方法：だれひとり置き去りにしない（甲斐田万智子）
部落差別（同和問題）	「寝た子」はネットで起こされる！？（川口泰司）
外国人の人権	まんが アフリカ少年が日本で育った結果（星野ルネ）
ハンセン病回復者及びその家族の人権	あん（ドリアン助川）
性的指向・性自認に関する人権	タンタンタンゴはパパふたり（ジャスティン・チャードソン、ピーター・パーネル）
災害と人権	災害と性暴力：性被害をなかったことにしない、させないために（Nursing Todayブックレット編集部）



Uni-Voice

ホームページへのアクセスは

熊本県人権センター

で 検索

※右のQRコードを読み取ってもアクセスできます。



発行者：熊本県
所属：人権同和政策課
発行年度：令和5年度（2023年度）